

# 巻末資料

## (1～11月国内外の主要公安動向)

■ : 国外で発生した事案

■ : 国内で発生した事案

1月 1日(日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>北朝鮮の金正恩党委員長が、「新年の辞」を発表し、大陸間弾道ミサイル(ICBM)の発射準備が「最終段階に至った」と表明。また、「国家経済発展5か年戦略」の遂行に向け、「自力自強」による生産拡大などに言及</li> <li>トルコ西部・イスタンブールのナイトクラブで、男がクラブの入口及び店内で銃を乱射し、39人が死亡、69人が負傷。「イラク・レバントのイスラム国」(ISIL)が犯行声明を发出</li> </ul>	25日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>韓国警察庁が、平成28年(2016年)11月3日及び1月3日、同国政府の外交・安全保障・国防・南北関係の職員ら40人に対し、北朝鮮関連の学術研究団体を詐称するマルウェア付きメールが送信された事案について、攻撃の発信源が北朝鮮のIPアドレスであった旨発表</li> <li>警視庁が、オウム真理教上祐派外部監査委員を、道交法違反容疑(無免許運転の疑い)で在宅送致(2月15日、罰金30万円の略式命令)</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>オウム真理教主流派が、年末年始集中セミナーを開催(平成28年(2016年)12月29日～1月3日、1月6～9日、埼玉など)</li> <li>オウム真理教上祐派が、年末年始集中セミナーを開催(平成28年(2016年)12月23～25日、12月29日～1月3日、東京など)</li> </ul>	2月 3日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>右翼団体が、「日教組第66次教育研究全国集会」抗議活動を実施(～5日、新潟)</li> </ul>
2日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>右翼団体が、「皇居新年一般参賀」活動を実施(東京)</li> </ul>	7日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>右翼団体が、北方領土の日に際し、「北方領土奪還」を訴える街宣活動を実施(全国各地)</li> </ul>
6日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>米国国家情報長官室が、ロシアによるサイバー攻撃などを通じた米国大統領選挙(平成28年(2016年))への介入問題に関して、同選挙を標的としたサイバー攻撃作戦が、プーチン大統領の指示の下、ロシアの情報機関によって行われたとしたほか、ロシア政府が今後も、米国を始め各国の選挙プロセスに影響を与えるとみられると指摘</li> </ul>	8日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ロシアのメドベージェフ首相が、北方領土の3か所を含む計5か所の無名島しょに名称を付与する政府令に署名</li> </ul>
12日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>愛知県警が、オウム真理教主流派出家信徒5人を、公安調査庁による平成28年(2016年)2月4日実施の立入検査における立入検査忌避容疑で逮捕(2月2日、全員が不起訴処分で釈放)</li> <li>共産党の小池晃書記局長らが、韓国民団中央本部の新年会に来賓として出席(東京)</li> </ul>	11日(土)	<ul style="list-style-type: none"> <li>右翼団体が、建国記念の日に際し、神社参拝や「紀元節」奉祝活動を実施(全国各地)</li> </ul>
15日(日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>共産党が、第27回大会を開催。他政党・会派(民進、自由、社民、沖縄の風)の代表者が初めて来賓として出席(～18日、静岡)</li> <li>右翼団体が、「日本共産党第27回大会」抗議活動を実施(静岡)</li> </ul>	12日(日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>北朝鮮が、弾道ミサイル「北極星2」型1発を発射。約500キロメートル飛ばし、日本海に落下</li> <li>革マル派が、「労働者怒りの総決起集会」を開催(東京)</li> </ul>
17日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>中国の習近平国家主席が、世界経済フォーラム年次総会(ダボス会議、スイス)に中国国家主席として初めて出席し、「旗幟鮮明に保護主義に反対しなければならない」などと発言</li> </ul>	13日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>北朝鮮・金正恩党委員長の異母兄・金正男がクアラルンプール国際空港で殺害。マレーシア警察は、北朝鮮国籍の男1人を含む男女4人を逮捕し、事件当日に出国した北朝鮮国籍の男4人を国際指名手配</li> </ul>
18日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>マリ北部・ガオ州の同国軍基地で、自動車爆弾を利用した爆弾テロが発生し、少なくとも77人が死亡、100人以上が負傷。「イスラム・マグレブ諸国のアルカイダ」(AQIM)は傘下の「アル・ムラービトゥーン」による犯行であった旨主張</li> </ul>	16日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>イラク首都バグダッドのバヤア地区で、自動車爆弾による爆弾テロが発生し、59人が死亡、66人が負傷。ISILが犯行声明を发出</li> </ul>
21日(土)	<ul style="list-style-type: none"> <li>パキスタン北西部・連邦直轄部族地域(FATA)クワラム地区の市場で、爆弾が爆発し、25人が死亡、50人以上が負傷。「パキスタン・タリバン運動」(TTP)及び「ラシュカレ・ジャンヴィ・アル・アラミ」が犯行声明を发出</li> </ul>	18日(土)	<ul style="list-style-type: none"> <li>右翼団体が、「全教第34回定期大会」抗議活動を実施(～19日、東京)</li> </ul>
		22日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>右翼団体、右派系グループが、竹島の日(島根県条例)に際し、「竹島奪還」を訴える街宣活動を実施(全国各地)</li> </ul>
		26日(日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>右翼団体が、「二・二六事件の日」と称し、慰霊祭を実施(東京、宮城など)</li> </ul>
		3月 1日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>中国政府が、インターネット空間に関する対外政策方針「サイバー空間国際協力戦略」を発表し、その中で、「サイバー空間における主権と安全、発展を守る上で軍に重要な役割を発揮させる」と明記</li> </ul>
		5日(日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>中国で、第12期全国人民代表大会(全人代)第5回全体会議(～15日)が開催(北京)。李克強総理が政府活動報告を行うとともに、GDP成長率の年間目標を「6.5%前後」に設定</li> <li>右翼団体が、「第84回自由民主党大会」に対し、「自主憲法制定」を訴える街宣活動を実施(東京)</li> </ul>
		6日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>北朝鮮が、弾道ミサイル「スカッドER」とみられる飛しょう体4発を同時に発射。いずれも約1,000キロメートル飛ばし、3発が我が国排他的経済水域内に落下</li> </ul>

8日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>中国の王毅外交部長が、第12期全人代第5回全体会議（5～15日）期間中の記者会見において、「中国は当然、日本との関係改善を望んでいるが、日本はまず自身の『心の病』を治す必要がある」などと発言</li> </ul>
11日(土)	<ul style="list-style-type: none"> <li>シリア首都ダマスカスのシエラ派聖びょう付近で、2件の自爆テロが発生し、74人が死亡、120人が負傷。「タハリール・アル・シャーム機構」(HTS) が犯行声明を発売</li> </ul>
14日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ロシアのプーチン大統領が、オレシユキン経済発展相に対して、我が国との貿易経済協力担当大統領特別代表の任務を付与する大統領令に署名</li> </ul>
15日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>オウム真理教の甲西施設が、失火により全焼（滋賀）</li> </ul>
19日(日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>北朝鮮の朝鮮中央放送が、新開発の大出力ミサイルエンジンの地上燃焼実験を実施した旨報道</li> <li>右翼団体が、日露外務・防衛閣僚協議に対し、「北方領土奪還」を訴える街宣活動を実施（～20日、東京）</li> </ul>
21日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>共産党員らが、組織的犯罪処罰法改正案の制定に反対する抗議活動に参加（東京）</li> </ul>
22日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>共産党の志位和夫委員長らが、国連本部で開催された「核兵器全面禁止につながる、核兵器を禁止する法的拘束力のある協定について交渉する国連会議」に出席（～4月1日、米国・ニューヨーク）</li> </ul>
26日(日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ロシアの政治活動家ナワリヌィが、モスクワを始めとするロシア全土で「反汚職運動」デモを開催</li> </ul>
27日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>横浜地裁が、公安調査庁による平成28年(2016年)3月2日実施の立入検査における立入検査忌避の罪に問われたオウム真理教主流派出家信徒に対し、罰金50万円の判決</li> </ul>
4月 3日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ロシア西部・サンクトペテルブルク中心部を走行中の地下鉄で、自爆テロとみられる爆発が発生し、14人が死亡、約50人が負傷</li> </ul>
6日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>中国の習近平国家主席が、訪米し（～7日）、米国のトランプ大統領と会談（6日）。双方は、朝鮮半島の非核化や国連安保理決議の完全履行に向けた取組を再確認したほか、両国間の経済貿易課題の解決を目指す「100日計画」の策定や、四つの対話枠組みの新設で合意</li> </ul>
9日(日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>エジプト北部・タンタとアレクサンドリアのコプト教会で、爆弾が爆発し、少なくとも合わせて47人が死亡、130人以上が負傷。「ISILエジプト」名の犯行声明が発売</li> </ul>
11日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>北朝鮮が、最高人民会議第13期第5回会議（平壤・万寿台議事堂）を開催。金正恩委員長が出席、内閣活動報告及び2016年決算・2017年予算を採択、最高人民会議外交委員会を選出</li> </ul>
15日(土)	<ul style="list-style-type: none"> <li>北朝鮮が、金日成主席生誕105周年慶祝閲兵式（平壤・金日成広場）を開催。金正恩委員長が出席、ICBM級とみられる新型の弾道ミサイルを公開</li> </ul>
21日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>アフガニスタン北部・バルフ州で、武装集団が国軍基地を襲撃し、兵士ら約150人が死亡、150人以上が負傷。「タリバン」が犯行声明を発売</li> </ul>
26日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>中国初の国産空母が、中国・遼寧省大連市で進水</li> </ul>

27日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ロシアのプーチン大統領が、ロシア・モスクワで、安倍晋三総理と約3時間にわたり会談。航空機を使用した北方領土への特別墓参実施や、北方領土への我が国官民調査団の派遣などで一致したほか、シリア及び北朝鮮などの国際情勢について協議</li> </ul>
28日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>オウム真理教主流派が、ゴールデンウィーク集中セミナーを開催（～5月7日、埼玉など）</li> </ul>
29日(土)	<ul style="list-style-type: none"> <li>右翼団体が、昭和の日に際し、武蔵野陵に参拝、昭和天皇の遺徳顕彰活動を実施（全国各地）</li> </ul>
5月 2日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>オウム真理教上祐派が、ゴールデンウィーク集中セミナーを開催（～7日、13～14日、21日、東京など）</li> </ul>
3日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>右翼団体が、憲法記念日に際し、「自主憲法制定」を訴える街宣活動を実施（全国各地）</li> </ul>
12日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界各国においてランサムウェア（いわゆるWannaCry）による大規模サイバー攻撃事態が発生。米国政府が15日、今回の攻撃による被害について、「約150か国に広がり、30万台以上の端末が感染」と発表</li> </ul>
14日(日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>北朝鮮が、IRBM級「火星12」型1発を発射。高度約2,000キロメートルに到達、約800キロメートル飛しょうし、日本海に落下</li> <li>中国・北京で「一帯一路」国際協力ハイレベルフォーラムが開催され（～15日）、29か国の外国元首・政府首脳を含む約130か国約1,500人が出席。共同コミュニケが採択（15日）</li> <li>ロシアのプーチン大統領が、中国・北京で、中国の習近平国家主席と会談</li> </ul>
17日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>共産党員や過激派活動家らが、高浜原発4号機の再稼働に対する抗議行動に参加（福井）</li> </ul>
18日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>中国公船が、尖閣諸島の我が国領海内に侵入。魚釣島の西北西約14キロメートルの海上を航行中、当該船橋前部付近において、小型無人機（ドローン）らしき物体1機が飛行</li> </ul>
19日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>共産党員らが、組織的犯罪処罰法改正案の制定に反対する抗議活動に参加（東京）</li> </ul>
21日(日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>北朝鮮が、弾道ミサイル「北極星2」型1発を発射。約500キロメートル飛しょうし、日本海に落下</li> </ul>
22日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>英国中部・マンチェスターのコンサート会場入口で、男が自爆し、22人が死亡、120人が負傷。「ISIL英国」名の犯行声明が発売</li> </ul>
23日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>フィリピン南部・南ラナオ州マラウィ市で、ISIL支持武装勢力が市街地を占拠。以後、同国国軍による戦闘作戦の終了（10月23日）までに武装勢力約920人、治安部隊165人、市民47人が死亡</li> </ul>
24日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>インドネシア首都ジャカルタ東部・東ジャカルタ市のバスターミナル付近で、男2人による連続自爆テロが発生し、警察官3人が死亡</li> </ul>
29日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>北朝鮮が、弾道ミサイル「スカッド改良型」とみられる飛しょう体1発を発射。約400キロメートル飛しょうし、日本海の我が国排他的経済水域内に落下</li> </ul>

■ : 国外で発生した事案

■ : 国内で発生した事案

31日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>アフガニスタン首都カブール中心部のドイツ大使館付近で、自動車爆弾が爆発し、少なくとも150人が死亡、400人以上が負傷</li> </ul>
6月 2日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>国連安全保障理事会が、対北朝鮮制裁決議第2356号を採択</li> </ul>
3日(土)	<ul style="list-style-type: none"> <li>英国首都ロンドン中心部のロンドン橋で、パキスタン系英国人ら3人組が自動車歩行者の列に突入した後、付近のレストランやバーに居た客を刃物で襲撃し、8人が死亡、約50人が負傷</li> </ul>
6日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>共産党員や過激派活動家らが、高浜原発3号機の再稼働に対する抗議行動に参加(福井)</li> </ul>
7日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>イラン首都テヘランで、武装集団が国会事務所建物内及びホメイニ霊びょうを同時に襲撃し、18人が死亡、52人が負傷。「ISILペルシャ」名の犯行声明が発出</li> </ul>
8日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ロシアのプーチン大統領が、カザフスタン・アスタナで、中国の習近平国家主席と会談</li> </ul>
13日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>北朝鮮が、拘束していた米国人大学生オットー・フレデリック・ウォームビアーを解放、訪朝したジョセフ・ユン米国務省北朝鮮政策担当特別代表に引き渡し(ウォームビアーは、19日に死去)</li> <li>中国が、中米・パナマと国交を樹立</li> <li>米国国土安全保障省(DHS)の傘下組織US-CERTが、北朝鮮によるサイバー攻撃に関する警戒情報を発表し、北朝鮮が軍事・戦略的目的を推進するためにサイバー攻撃を継続する旨指摘</li> <li>共産党の志位委員長が、「共謀罪を廃案に！安倍改憲NO！6・13市民集会」に参加(東京)</li> </ul>
16日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>中国人民解放軍が、中国・インド・ブータン国境地域のドクラム高地で、道路建設を開始。これを受け、中印両軍が国境で対峙する局面が発生(～8月28日)</li> </ul>
20日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>中国の国家発展改革委員会と国家海洋局が、「一帯一路」構想沿線国との海洋協力の方向性や新たに北極海を同構想に含むことなどを企図した『「一帯一路」建設海上協力構想』を発表</li> </ul>
23日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>パキスタン南西部・バルチスタン州都クエッタの警察庁舎付近で、自動車爆弾が爆発し、12人が死亡、20人が負傷。ISILの「ホラサン州」と「パキスタン・タリバン運動ジャマートウル・アフラル」(TTP-JA)がそれぞれ犯行声明を発出</li> </ul>
28日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>欧州刑事警察機構(ユーロポール)が、世界各地で、6月27日以降、ランサムウェア(いわゆるPetya亜種)によるサイバー攻撃被害が発生している旨発表</li> </ul>
29日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>米国政府が、台湾への14億ドル相当の武器売却決定を米議会に通知</li> </ul>
7月 1日(土)	<ul style="list-style-type: none"> <li>香港祖国復帰20周年祝賀大会が、中国・香港で、中国の習近平国家主席出席の下、開催</li> </ul>
2日(日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>共産党が、都議選において19議席を獲得(告示前比2議席増)</li> </ul>

4日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>北朝鮮が、ICBM級「火星14」型1発を発射。高度2,500キロメートルを大きく超え、約900キロメートル飛しょうし、我が国の排他的経済水域内に落下</li> <li>ロシアのプーチン大統領が、ロシア・モスクワで、中国の習近平国家主席と会談</li> <li>中国の王毅外交部長とロシアのラブロフ外相が、「朝鮮半島問題に関する中華人民共和国外交部とロシア連邦外務省の共同声明」に署名</li> </ul>
5日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>共産党の志位委員長らが、国連本部で開催された「核兵器全面禁止につながる、核兵器を禁止する法的拘束力のある協定について交渉する国連会議」に出席(～7日、米国・ニューヨーク)</li> </ul>
7日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ロシアのプーチン大統領が、G20サミット(～8日、ドイツ・ハンブルク)の際に、米国のトランプ大統領と会談。また、プーチン大統領は、安倍晋三総理と会談し、北方領土における日露共同経済活動に関する外務次官級協議の開催で一致したほか、北朝鮮などの国際情勢について協議。8日には、中国の習近平国家主席が、安倍総理と会談し、日中関係の改善を進めることなどで一致</li> </ul>
10日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>イラクのアバディ首相が、ISILによって平成26年(2014年)6月以降支配されていたイラク北部・モスルの解放を宣言</li> </ul>
13日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ノーベル平和賞受賞者である中国の作家・劉曉波氏が、中国・遼寧省瀋陽市の病院で死去</li> </ul>
15日(土)	<ul style="list-style-type: none"> <li>中国公船が、対馬の南の我が国領海内を航行。その後、中国公船(2隻)が、沖ノ島の北の領海内を航行。17日、同2隻が、津軽海峡付近の領海内を航行</li> <li>右翼団体が、「日教組第106回定期大会」抗議活動を実施(～16日、東京)</li> </ul>
19日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>共産党が、党創立95周年記念講演会を開催(東京)</li> </ul>
21日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ロシアと中国が、バルト海で、共同海軍演習「海上連携2017」を実施(～28日)</li> </ul>
25日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ナイジェリア北東部・ボルノ州マグメリ近郊で、武装集団が石油探査チームを襲撃し、69人を殺害したほか、3人を誘拐。29日、「ボコ・ハラム」は、拘束した3人が救出を訴える様子を撮影した動画を発出</li> </ul>
27日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>イランが、人工衛星運搬ロケット「シモルグ」の発射実験に「成功」と発表</li> </ul>
28日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>北朝鮮が、ICBM級「火星14」型1発を発射。高度3,500キロメートルを大きく超え、約1,000キロメートル飛しょうし、我が国の排他的経済水域内に落下</li> <li>ロシア外務省が、米国に対し、9月1日までにロシア国内の米国公館で勤務する職員数を、在米ロシア公館の職員数455人と同数にするよう要求</li> </ul>
30日(日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>中国人民解放軍建軍90周年パレードが、習近平中央軍事委員会主席出席の下、内モンゴル自治区朱日和訓練基地で開催</li> </ul>
8月 1日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>東アフリカ・ジブチの「保障基地」が、中国人民解放軍初の海外拠点として運用を開始</li> </ul>

2日(水)	•米国のトランプ大統領が、対露経済制裁を強化する法案に署名
5日(土)	•国連安全保障理事会が、対北朝鮮制裁決議第2371号を採択
6日(日)	•右翼団体が、原爆の日に際し、米国の原爆投下を批判する街宣活動を実施(～9日、東京、広島、長崎など)
8日(火)	•朝鮮人民軍戦略軍が、米領グアム島周辺への包囲射撃作戦を検討している旨発表
9日(水)	•右翼団体が、「反ロデー」と称し、「北方領土奪還」を訴える街宣活動を実施(全国各地)
11日(金)	•オウム真理教上祐派が、夏季集中セミナーを開催(～16日、19～20日、東京など)
12日(土)	•共産党員や過激派活動家らが、「翁長知事を支え、辺野古新基地を造らせない県民大会」に参加(沖縄)
15日(火)	•右翼団体が、終戦の日に際し、靖国神社及び護国神社に参拝、戦没者慰霊祭に参列(全国各地)
17日(木)	•スペイン北東部・バルセロナ中心部のランブラス通りで、人混みに車両が突入し、14人が死亡、130人以上が負傷。翌18日には、同国北東部・カンブリスで、人混みに車両が突入し、1人が死亡、6人が負傷。翌19日、ISILが犯行声明を发出
18日(金)	•右翼団体が、「全教2017年度教育研究全国集会」抗議活動を実施(～20日、岡山)
23日(水)	•ロシアのメドヴェージェフ首相が、北方領土・色丹島の一部を経済特区「先行発展領域」に指定する政府令に署名
24日(木)	•共産党の緒方靖夫副委員長が、朝鮮総聯中央本部を訪問し、北朝鮮による弾道ミサイル発射に関する志位委員長の声明を手交するとともに、徐忠彦国際統一局長と意見交換(東京)
25日(金)	•ミャンマー北西部・ラカイン州マウンドー地区で、「アラカン・ロヒンギャ救世軍」(ARSA)が、警察施設及び国軍基地を襲撃し、警察官など12人が死亡
29日(火)	•北朝鮮が、IRBM級「火星12」型1発を発射、北海道上空を通過し、襟裳岬の東約1,180キロメートルの太平洋上に落下
9月 3日(日)	•北朝鮮の朝鮮労働党が、中央委政治局常務委員会を開催、ICBM装着用水爆実験の実施を決定 •北朝鮮が、6回目の核実験を実施、「ICBM装着用の水爆実験に成功」と発表 •ロシアのプーチン大統領が、中国・アモイで、中国の習近平国家主席と会談
7日(木)	•ロシアのプーチン大統領が、ロシア・ウラジオストクで、安倍晋三総理と約3時間にわたり会談。北方領土における日露共同経済活動で早期に取り組むプロジェクト(5件)の特定や、9月下旬めどでの航空機を使用した北方領土への特別墓参の実施などで一致
8日(金)	•中国人民対外友好協会などが、「日中国交正常化45周年記念レセプション」(北京)を開催。王晨全人代常務委員会副委員長や、日中友好団体関係者など約300人が出席
10日(日)	•ロシアで統一地方選挙が実施。16連邦構成主体で行われた首長選挙では、与党「統一ロシア」推薦の候補者が全員当選
11日(月)	•国連安全保障理事会が、対北朝鮮制裁決議第2375号を採択

14日(木)	•EUが、対露制裁を平成30年(2018年)3月15日まで延長することを決定 •ロシアとベラルーシが、戦略軍事演習「ザーパド(西)–2017」を実施(～20日) •イラク南部・ジーカール県都ナーシリーヤの飲食店及び検問所で、自爆及び銃撃によるテロが相次いで発生し、少なくとも84人が死亡、93人が負傷。ISILが犯行声明を发出
15日(金)	•北朝鮮が、IRBM級「火星12」型1発を発射、北海道上空を通過し、襟裳岬の東約2,200キロメートルの太平洋上に落下 •英国首都ロンドン南西部・パーソンズグリーン駅で、地下鉄車両内に置かれた爆発物が爆発し、30人が負傷。ISILが犯行声明を发出 •オウム真理教主流派が、秋季集中セミナーを開催(～18日、22～25日、埼玉など)
18日(月)	•ロシアと中国が、日本海及びオホーツク海などで、共同海軍演習「海上連携2017」を実施(～25日)
21日(木)	•北朝鮮の金正恩党委員長が、米国に対し「史上最高の超強硬対応措置を考慮する」とする国務委員会委員長声明を発表。李容浩外相が「太平洋上での水爆実験」の可能性を示唆
22日(金)	•イランが、新型国産弾道ミサイル「ホルムシャハル」の発射実験に「成功」と発表
25日(月)	•オウム真理教主流派及び上祐派が、国(公安審査委員会)を相手取り、団体規制法に基づく観察処分期間更新処分(平成27年(2015年)、5回目)の取消しを求めた訴訟において、東京地裁は、上祐派への観察処分を取り消す判決(国は10月6日付で控訴)
27日(水)	•韓国警察庁が、同国の仮想通貨取引所の関係者に対して、国家機関や金融機関等を詐称したマルウェア付き電子メールが送信された事案(7～8月)について、北朝鮮の犯行と確認された旨発表
29日(金)	•中国の李克強総理が、日中国交正常化45周年に際し、安倍晋三総理と祝電を交換 •右翼団体が、「反中共デー」と称し、「尖閣諸島死守」を訴える街宣活動を実施(全国各地)
10月 3日(火)	•共産党が、第2回中央委員会総会を開催し、第48回衆院選の対応方針などを採択(東京)
4日(水)	•リビア西部・ミスラタ県ミスラタで、3人組の武装集団が裁判所を襲撃した際に、自爆するなどし、4人が死亡、40人以上が負傷。ISILの「トリポリ州」が犯行声明を发出
7日(土)	•北朝鮮の朝鮮労働党が、中央委員会第7期第2回全員会議を開催
8日(日)	•オウム真理教主流派が、「真理の教団開設30周年記念式典」を開催(北海道など)
14日(土)	•ソマリア首都モガディシュ中心部のホテル付近で、トラックに積まれた爆弾が爆発し、500人以上が死亡、約300人が負傷
16日(月)	•ロシアのマトビエンコ上院議長が、第137回列国議会同盟総会(～18日、ロシア・サンクトペテルブルク)に際し、北朝鮮最高人民会議の安東春副議長及び韓国国会の丁世均議長とそれぞれ会談

■ : 国外で発生した事案

■ : 国内で発生した事案

18日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>中国共産党第19回全国代表大会(党大会)が開催(～24日)。「小康社会の全面的完成の決戦に勝利し、新時代の中国の特色ある社会主義の偉大な勝利を勝ち取ろう」と題する第18期中央委員会の「報告(政治報告)」や「党規約改正案」などを審議・採択</li> </ul>
20日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>「シリア民主軍」が、ISILによって平成26年(2014年)上旬以降支配されていたシリア北部・ラッカの解放を宣言</li> </ul>
22日(日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>共産党が、第48回衆院選において12議席を獲得(公示前比9議席減)</li> </ul>
25日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>中国共産党第19期中央委員会第1回全体会議が開催。中央政治局委員25人、同常務委員7人が選出され、中央委員会総書記に習近平が選出。また、中央軍事委員会メンバーが決定</li> </ul>
26日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>独立行政法人情報処理推進機構(IPA)が、ロシアやウクライナ等の地域を中心として、10月24日に、ランサムウェア(いわゆるBad Rabbit)によるサイバー攻撃被害が発生した旨発表</li> </ul>
28日(土)	<ul style="list-style-type: none"> <li>右翼団体が、「竹島奪還の日」と称し、「竹島奪還」を訴える街宣活動を実施(全国各地)</li> </ul>
31日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>米国・ニューヨーク州マンハッタン南部で、男がピックアップトラックで自転車専用レーンに突入し、8人が死亡、11人が負傷。ISILが犯行を主張</li> </ul>
11月 5日(日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>中核派が、「全国労働者総決起集会」を開催(東京)</li> </ul>

5日(日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>イエメン南部・アデン州で、武装集団が治安機関本部庁舎を襲撃し、人質を取って立て籠もるなどし、少なくとも35人が死亡。ISILの「アデン・アブヤン州」が犯行声明を发出</li> </ul>
10日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ロシアのプーチン大統領が、APEC首脳会議(～11日、ベトナム・ダナン)の際に、安倍晋三総理と会談。また、プーチン大統領は、中国の習近平国家主席と会談。11日には習国家主席が、安倍総理と会談</li> </ul>
17日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>中国の宋濤共産党中央対外連絡部長が、習近平総書記の特使として訪朝し(～20日)、崔竜海朝鮮労働党中央副委員長らと会見・会談。第19回党大会の開催状況を説明</li> </ul>
20日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>米務省が、北朝鮮をテロ支援国家に再指定</li> <li>公安調査庁長官が、団体規制法第12条第1項に基づき、公安審査委員会に観察処分の期間更新(6回目)を請求</li> </ul>
22日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ロシアのプーチン大統領が、ロシア・ソチで、イランのロウハニ大統領及びトルコのエルドアン大統領とシリア和平問題について協議</li> </ul>
24日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>エジプト北東部・北シナイ県エル・アリシュ市近郊のビル・アル・アブドで、約30人の武装集団がモスクを襲撃し、30人以上が死亡</li> </ul>
29日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>北朝鮮が、ICBM級「火星15」型1発を発射。高度4,000キロメートルを大きく超え、約1,000キロメートル飛ばし、我が国の排他的経済水域内に落下</li> </ul>

## ■ 公安調査庁WEBサイトのご案内



「回顧と展望」は、  
公安調査庁ウェブサイトでも  
ご覧になれます。

<http://www.moj.go.jp/psia/>

●Twitter公式アカウント

@MOJ\_PSIA

([http://twitter.com/MOJ\\_PSIA](http://twitter.com/MOJ_PSIA))

